

第1 図表

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

表2-1 ごみ処理状況の年度別推移

年度	総人口(人)	総排出量 (t/年)	計画処理量		焼却量 (t/年)	焼却率 (%)	資源化量 (t/年)	リサイクル率 (%)	埋立量 (t/年)
			計画処理量	集団回収量					
17	1,117,411	435,959	401,909	34,050	328,033	75.2	84,205	19.3	54,573
18	1,113,837	436,112	401,495	34,617	324,853	74.5	87,473	20.1	55,279
19	1,111,308	418,756	385,071	33,685	313,670	74.9	86,616	20.7	48,677
20	1,105,276	409,352	377,092	32,260	307,690	75.2	85,595	20.9	44,967
21	1,099,285	388,737	352,981	35,756	297,729	76.6	79,676	20.5	43,494
22	1,096,406	382,715	348,360	34,355	296,544	77.5	78,335	20.5	39,257

表2-2 容器包装リサイクル法に基づく分別収集量の年度別推移

(単位：t)

年 度	19	20	21	22	23
無 色 ガ ラ ス	2,354.6	2,237.4	2,196.1	2,219.8	2,160.7
茶 色 ガ ラ ス	2,662.4	2,618.5	2,520.1	2,614.9	2,489.6
そ の 他 ガ ラ ス	922.8	916.0	827.8	889.0	855.9
ペ ッ ト ボ ト ル	1,735.9	1,682.3	1,690.9	1,743.2	1,640.7
そ の 他 紙 製 容 器 包 装	2,554.1	2,479.5	2,430.4	2,303.0	2,215.0
その他プラスチック製容器包装	6,001.8	5,549.7	5,554.7	5,518.6	5,400.4
ス チ ー ル 缶	1,186.7	1,117.2	1,049.7	1,025.9	983.9
ア ル ミ 缶	1,345.3	1,349.0	1,257.8	1,293.7	1,255.3
紙 パ ッ ク	147.5	168.1	143.2	151.7	147.8
段 ボ ー ル	5,644.9	5,804.3	5,263.2	5,355.1	5,444.6
合 計	24,556.0	23,974.5	22,933.9	23,114.9	22,594.1

注 その他プラスチック製容器は、白色トレイを含めた量です。

表2-3 家電リサイクル法に基づく廃家電品の引取り台数

(単位：台数)

品 目	エアコン	テレビ	冷蔵庫	洗濯機	合 計
19年度	17,236	59,338	29,870	29,812	136,256
20年度	18,861	69,854	32,404	30,274	151,393
21年度	20,269	120,193	31,538	31,529	203,529
22年度	27,572	177,087	31,534	27,605	263,798
23年度	15,594	67,886	23,856	20,486	127,822

注 県内4か所の指定引取り場所での引取り台数です。

図2-1 産業廃棄物の地域別排出量（22年度）

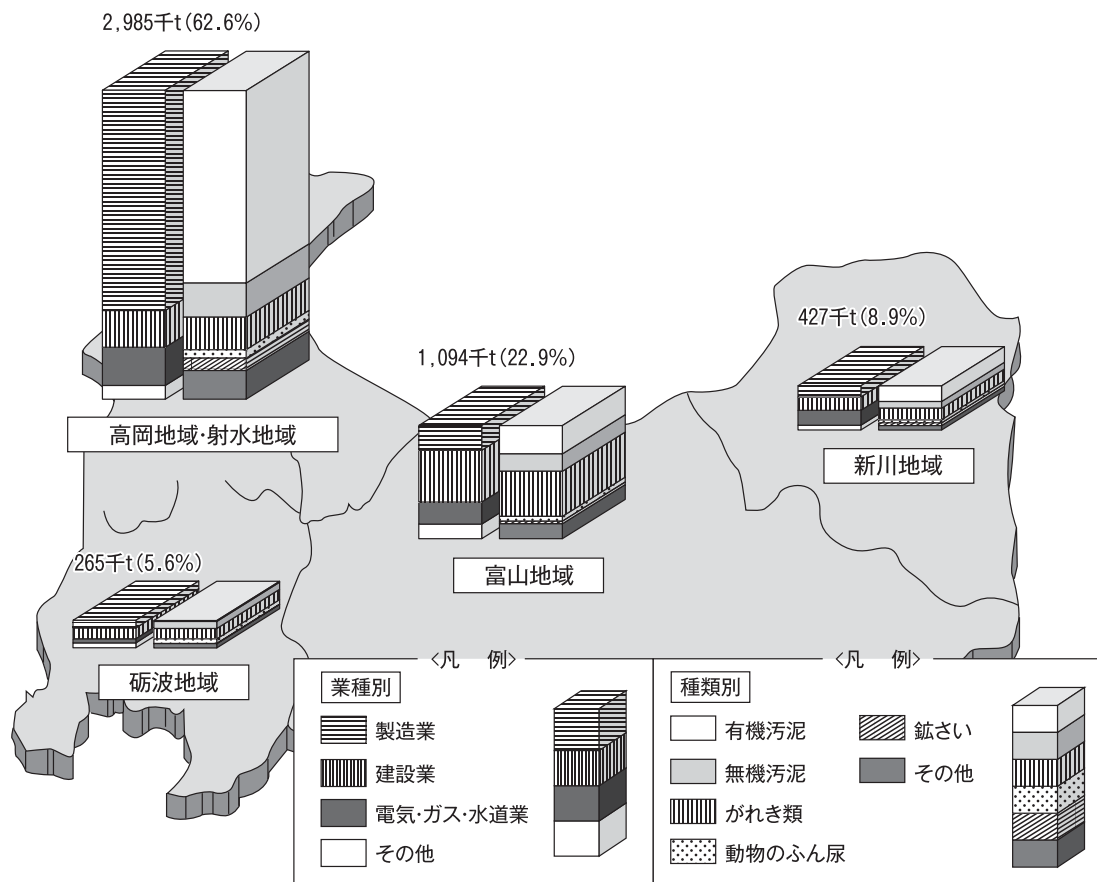


表2-4 多量排出事業者の処理計画書等の提出状況（23年度）

業種	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物	合計
製造業	76 (20)	55 (21)	131 (41)
建設業	122 (25)	3 (0)	125 (25)
電気・ガス・水道業	20 (5)	0 (0)	20 (5)
その他の業種	6 (1)	6 (3)	12 (4)
合計	224 (51)	64 (24)	288 (75)

注1 提出事業者は、法に定める多量排出事業者（産業廃棄物の年間発生量が1,000トン以上又は特別管理産業廃棄物の年間発生量が50トン以上の事業者）を示します。

2 () は、富山市に提出があったものであり、内数です。

3 その他の業種は、鉱業、医療業です。

4 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の両方の計画書を提出した事業所数は35（うち富山市12）です。

表2-5 ごみ処理施設の整備状況

(1) ごみ焼却施設

(24年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力 (t/日)
富山	富山地区広域圏事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	クリーンセンター	全連続	810
高岡	高岡市	環境クリーン工場	全連続	270
	氷見市	西部清掃センター	機械化バッチ	50
新川	新川広域圏事務組合 (魚津市・黒部市・入善町・朝日町)	エコぼ〜と	准連続	174
砺波	砺波広域圏事務組合 (砺波市・南砺市)	クリーンセンターとなみ	准連続	70
射水	射水市	クリーンピア射水	全連続	138
計		6施設		1,512

(2) 粗大ごみ処理施設

(24年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力 (t/日)
富山	富山地区広域圏事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	リサイクルセンター	破碎・選別・圧縮	70
高岡	氷見市	氷見市不燃物処理センター	破碎・選別	20
新川	新川広域圏事務組合 (魚津市・黒部市・入善町・朝日町)	宮沢清掃センター	破碎・選別・圧縮	40
砺波	砺波広域圏事務組合 (砺波市・南砺市)	クリーンセンターとなみ 粗大ごみ処理プラント	破碎・選別	9
射水	射水市	ミライクル館 粗大ごみ処理施設	破碎・選別	30
計		5施設		169

(3) ごみ固形燃料化施設

(24年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力 (t/日)
砺波	砺波広域圏事務組合 (南砺市)	南砺リサイクルセンター	固形燃料化	28

(4) 廃棄物再生利用施設（リサイクルプラザ）

(24年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力 (t/日)
富山	富山地区広域圏事務組合 (富山市・滑川市・舟橋村・上市町・立山町)	リサイクルセンター	破碎・選別・圧縮	40.6
高岡	高岡市	高岡市リサイクルプラザ	破碎・選別・圧縮	46
		福岡リサイクルセンター	選別・圧縮	2.36
	氷見市	氷見市リサイクルプラザ	選別・圧縮	16
砺波	砺波広域圏事務組合 (南砺市)	南砺リサイクルセンター	破碎・選別・圧縮*	8
射水	射水市	ミライクル館	破碎・選別・圧縮	8.74
計		6施設		121.7

注 *は、ごみ燃料化施設と併用

表2-6 し尿処理状況の年度別推移

年度	総人口 (人)	くみとり 便所 計画収集 人口(人)	水洗便所		衛生処理 人口(人)	収集内訳 (ℓ/年)			処理内訳 (ℓ/年)			
			浄化槽 基数(基)	公 共 下 水 道 人 口(人)		くみとり し 尿	浄 化 槽 汚 泥	計	し尿処理 施 設	公共下水 道マンホ ール投入	農村還元 その 他	
												人口(人)
18	1,113,837	89,399	84,093	294,983	729,455	1,113,267	75,636	134,760	210,396	194,316	16,080	0
19	1,111,308	75,846	79,538	298,579	736,393	1,110,818	64,480	132,607	197,087	180,526	16,561	0
20	1,105,276	63,473	76,918	277,594	763,830	1,104,897	57,607	128,294	185,901	170,775	15,126	0
21	1,099,285	76,297	74,246	246,919	775,897	1,099,113	53,051	118,850	171,901	158,629	13,272	0
22	1,096,406	67,388	66,566	234,946	793,949	1,096,283	46,879	112,032	158,911	117,246	41,665	0

表2-7 し尿処理施設の整備状況

(24年4月1日現在)

広域圏	市町村・事務組合	名称	型式	能力 (ℓ/日)
富山	富山市	つばき園	固液分離	90
	滑川市	衛生センター し尿処理場	嫌気性消化 ・活性汚泥	33
	富山地域 衛生組合 (富山市・上市町・立山町)	万浄園施設	高負荷脱窒素	217
		中部衛生センター施設	低二段活性汚泥	80
高岡	高岡市	高岡市し尿処理施設	好気性消化処理	66
	氷見市	クリーンセンター	高負荷脱窒素	45
砺波	砺波地方衛生 施設組合 (高岡市・砺波市・小矢部市・南砺市)	クリーンシステムとなみ	膜分離高負荷脱窒素	104
射水	射水市	射水市衛生センター	二段活性汚泥	116
計		8施設		751

表2-8 PCB 特別措置法に基づく届出状況

(23年3月31日現在)

	保管中	使用中
事業所数	867	230
数量		
高圧トランス [台]	525	92
高圧コンデンサ [台]	2,719	443
低圧トランス [台]	38	9
低圧コンデンサ [台]	4,381	714
柱上トランス [台]	58,160	8,002
安定器 [台]	35,300	2,068
P C B [kg]	1,111	0
P C B を含む油 [kg]	2,643,193	0
感圧複写紙 [kg]	980	0
ウエス [kg]	24,688	0
その他機器 [台]	2,084	2,074
汚泥 [kg]	21,187	0
その他 [L]	90,802	0

- 注1 県所管分と富山市所管分を合計した数値です。
 注2 使用中の柱状トランスの数値は、推定値として事業者から報告のあったものです。
 注3 「廃PCB」、「PCBを含む廃油」のうち、容量で届出されたものは1ℓ = 1kgとして重量に換算し集計しています。

表2-9 産業廃棄物処理施設の許可（届出）状況

(24年3月31日現在)

施設区分	処理能力	施設数	施設区分	処理能力	施設数
汚泥の脱水施設	10m ³ /日を超える	67	廃プラスチック類の焼却施設	100kg/日を超える 火格子面積2m ² 以上	5
		19			7
汚泥の乾燥施設	10m ³ /日を超える	4	木くず又はがれき類の破碎施設	5 t/日を超える	144
		1			118
汚泥の焼却施設	5 m ³ /日を超える 200kg/時間以上 火格子面積2 m ² 以上	6	有害物質等のコンクリート固化施設	すべて	2
		4	シアン化合物の分解施設	すべて	0
廃油の油水分離施設	10m ³ /日を超える	3	廃PCB等の分解施設	すべて	3
		2			0
廃油の焼却施設	1 m ³ /日を超える 200kg/時間以上 火格子面積2 m ² 以上	2	産業廃棄物の焼却施設(汚泥、廃油、廃プラスチック類以外の施設)	200kg/時間以上 火格子面積2 m ² 以上	0
		4			13
廃酸又は廃アルカリの中和施設	50m ³ /日を超える	2	最終処分場	安定型	8
		3		管理型	2
廃プラスチック類の破碎施設	5 t/日を超える	22	合計		11
		33			5
					290
					209

注 上段は富山県の施設数、下段は富山市の施設数です。

表2-10 主な環境月間行事（23年度）

行 事 名	実 施 概 要
エコライフ・アクト大会	日常生活の中でごみや二酸化炭素を極力排出しない環境に配慮した生活様式（エコライフスタイル）の普及と定着を図るため、環境とやま県民会議の構成団体による活動発表や、次世代を担う日本各地の子どもたちが、TV会議システムを通じて日頃の環境保全活動を発表する「こどもエコサミット in とやま」や「環日本海・環境サポーター制度キックオフイベント」など楽しみながらエコライフスタイルへの理解を深める大会を開催 (23. 6. 19)
環境月間ポスターの募集と展示	県内小・中学校の児童生徒から環境に関するポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに、ショッピングセンターなどで展示

表2-11 環境保全相談室の活動状況（23年度）

・相談業務

内 容	件 数
財団の事業に関するもの	321
環境保全団体・NPOに関するもの	2
環境関連の企業に関するもの	4
環境に関する講師など個人に関するもの	20
県、市町村の施策など行政に関するもの	5
環境法令に関するもの	8
住宅用太陽光発電システム補助に関するもの	31
家庭用省エネ設備に関するもの	54
計	450件

・環境に関する出前講座

環境保全、地球温暖化等に関する講師を要望に応じて無料で派遣

区 分	ごみ減量化、リサイクル推進	地 球 温暖化防止	水 環 境	そ の 他	計
利用件数	1件	12件	1件	2件	16件
利用者数	23人	1,012人	40人	45人	1,120人

表2-12 中小企業環境施設整備資金融資制度の概要

資金の用途	貸付対象者	金利	償還期限	融資限度額
(1) 公害防止施設の整備 (産業廃棄物の処理施設を含む。)	中小企業者	年1.90%以内 (19.4.1～)	7年以内 (うち据置1年以内)	個別 3,000万円 団体 5,000万円
(2) 公害防止に必要な工場等の移転、 工場に隣接する民家等の買収				
(3) 公害防止又は工場等の周辺の景観 保持のために必要な緑地・囲障等の 設置				
(4) 低公害車の購入				
(5) 土砂運搬用トラックによる著しい 道路の汚損又は粉じん発生の防止の ために必要な洗車施設の設置及び路 面清掃車の購入				
(6) オゾン層を破壊する物質の排出の 抑制及び使用の合理化のために必要 な施設の整備等				
(7) 廃棄物の資源化及び再生利用のた めに必要な施設の整備				
(8) 地下水の保全及び水の循環的な利 用のために必要な施設の整備				
(9) 標高1,000m以上の自然公園内で 実施する環境に配慮したトイレの整 備				
(10) 温室効果ガスの排出の抑制のた めに必要な施設等の整備				
		※用途(4)・(10)につ いては、 年1.35%以内 (21.4.1～)		

表2-13 中小企業環境施設整備資金融資実績の年度別推移

(単位：千円)

年	公害		防			止			施			設		フロン対策		緑地等の		低公害車の		資源化・		地下水保全		山岳地の		温暖化		その他		計	
	汚	水	ばい煙・粉じん	悪	臭	有害ガス	騒音振動	産業廃棄物	施	設	施	設	施	設	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
19	2	35,000	1	15,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	50,000			
20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	45,000	-	-	-	-	-	-	-	2	25,000	-	-	4	70,000		
22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

表2-14 中小企業環境施設整備資金の融資実績（施工地市町村別）の推移

市町村	19		20		21		22		23	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
富山市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高岡市	2	30,000	-	-	1	25,000	-	-	-	-
魚津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
氷見市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
黒部市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砺波市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
射水市	1	20,000	-	-	-	-	-	-	-	-
上市町	-	-	-	-	1	20,000	-	-	-	-
立山町	-	-	-	-	2	25,000	-	-	-	-
計	3	50,000	-	-	4	70,000	-	-	-	-

表2-15 公害防止施設等に対するその他融資制度の実績の推移

種類	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
小規模企業者等設備導入資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中小企業高度化資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
設備投資促進資金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
農業近代化資金	-	-	1	18,000	1	9,700	-	-	-	-
計	0	0	1	18,000	1	9,700	-	-	-	-

表2-16 環境保全に関する試験・研究

(1) 環境科学センター

課 題	目 的	結 果
富山県における地球温暖化の影響等に関する調査研究	これまでの気象の変化や生態系変化の解析と、今後の自然や生活環境への影響を予測・評価	富山県における気象変動や現在までに現われている温暖化影響に関する観測データを取りまとめ、データベース化し、自然環境や生活環境に既に現われている影響について評価した。気温上昇に伴った植物季節のほか、県内各地の降雪日数など、年間を通じて変化が現われていることがわかった。
東アジア地域からの大気降下物に関する研究	東アジア地域から富山県に輸送される大気汚染物質の実態を把握	標高別に大気中の微粒子や降水を捕集し、東アジア地域からの汚染物質や黄砂の影響について検討した。また、オキシダント濃度と移流してきた気塊との関係について後方流跡線による解析を行った。
富山湾の健全性に関する研究	河川及び海域における水質測定ならびに植物プランクトン調査から、海洋環境の実態を示すことができる指標を構築し、富山湾の豊かさを含めた健全性について評価	河川、海域及び農業用水における有機物及び栄養塩類濃度の季節変動と分布について検討した。また、海域における植物プランクトン組成及び濃度についても調査を行い、栄養塩類と植物プランクトンの関連について検討を行った。
省エネに配慮した排水処理施設の運転管理技術に関する研究	排水処理施設において省エネ化を推進できる運転管理技術の確立と、県内の排水処理施設への普及	生活系の排水処理施設を有する事業者に対し、排水処理方式、省エネ運転対策の有無、運転方法等についてアンケート調査を実施したところ、省エネ運転の余地がある施設がほとんどであった。また、省エネ運転を実施している代表的な排水処理方式の2施設において水質調査を実施したところ、処理水質はいずれも良好であった。
富山県における循環型社会構築に関する研究	廃棄物の実態を把握し、循環資源としてその活用を推進するための方策を検討	県内の生コン工場を対象に残コン及びコンクリートスラッジの処理並びに再生利用の実態についてアンケート調査を実施し、経済性及び環境負荷の面からより良い処理方法について比較検討し、各処理方法における再生利用、埋立処分の実態及び特性を明らかにした。
富山県の地下水涵養と流動に関する研究	高岡砺波地域の地下水の流動及び涵養状況を把握し、地下水の保全及び適正利用の方策を検討	能町観測井（高岡市）の深度別の水質特性及びその季節変化並びに高岡砺波地域における地下水の水質特性を用いて地下水の流動の把握を行った。

(2) 衛生研究所

課 題	目 的	結 果
衛生動物の生態分布に関する調査研究	衛生動物の分布と環境要因との関係を継続調査	様々な環境において分布する蚊種を調査したところ、都市部ではアカイエカ、農村部ではコガタアカイエカが優占することが明らかになった。
食品中の残留農薬及びその他の有害物質に関する調査研究	残留農薬等による食品の汚染状況の継続調査	玄米等の県内主要農産物等9種22検体について、有機リン系など約90農薬を分析したところ、全てが基準値以下であり、食品衛生上問題となるレベルではなかった。 富山産魚介類のカマス等16魚種20検体について総水銀を、タチウオ等9魚種10検体についてトリブチルスズオキサイドをそれぞれ分析したところ、いずれも問題となる残留値ではなかった。
イタイイタイ病に関する調査研究	カドミウム汚染とイタイイタイ病の予防	神通川流域のカドミウム汚染地域に居住している住民を対象に毎年実施している「神通川流域住民健康調査」のデータを蓄積し、解析を行っている。
環境汚染物質と生体影響に関する研究	環境化学物質の生体内曝露評価に関する検討	代謝が速く毒性が低いとされてきた有機リン系農薬の尿中代謝物が一般住民から低濃度ながら継続的に検出され、恒常的な曝露を確認した。曝露レベルに影響を及ぼす生活環境要因について調査を実施中である。

(3) 工業技術センター

課 題	目 的	結 果
県産バイオマス材料を利用したバイオマスプラスチックの開発と製品試作	石油使用量が少ないバイオマス配合プラスチックの使用が注目されている。一般消費者や学校で日常的に使用される食器を中心として、県産バイオマス材料を利用したバイオマスプラスチックの開発と製品試作を行う。	セルロース混合可塑化成形装置を用いて県内で排出されるバイオマス材料（籾殻）と各種グレードのポリプロピレンを複合化してバイオマスプラスチックを作製した。また、材料に顔料を用いて着色する技術について検討するとともに、小型射出成形機で試験片を作製して、成形性や物性を評価した。
固体電解質を使用した色素増感太陽電池の開発	色素増感太陽電池は、その量産性の高さから次世代の太陽電池として期待されている。電解液の固体化に向けスクリーン印刷可能な電解質ペーストの研究開発を進める。	酸化チタン膜の微細構造評価および色素吸着条件の最適化をおこなった。ゲル状の電解質を作製して、従来から使用していた電解液と同等の変換効率7%を得ることができた。また、電解質の擬固体化によって信頼性を向上させることができた。
ソーラーパネル一体型屋外用照明システムの製ソーラーパネル一体型屋外用照明システムの製品開発	本照明システムは、LED照明灯、太陽電池モジュール、バッテリーで構成される。その具体的な用途先を選定し、それに適合したデザインを開発し、商品化へつなげる。	パネル一体型小型防犯灯について、一般住宅用、住民の安心確保のための災害対策用、および土木・工事現場等の節電対策用を想定し、それに適合したデザイン開発及び試作を行った。また、試作品については、照明時の発熱状態を熱画像装置にてチェックし安全面を確認した。
環境に配慮した低コスト無線 IC タグの開発	無線 IC タグはバーコードに代わる商品識別・管理技術であり、IT 化・自動化のための導入が期待されている。新たな低環境負荷の製造プロセスを開発し、タグの試作を行う。	従来の製造技術では、アンテナパターンを形成するためにエッチングや洗浄などの工程が必要であったが、今回の手法ではこれらの工程が不要で廃液も発生しないなど、環境負荷を低減させるものとなった。また、試作品の通信距離を測定したところ、市販品と遜色ない結果が得られた。
バイオ燃料生産微生物のスクリーニング法に関する研究	バイオ燃料や微生物電池は再生可能なクリーンエネルギーとして大きな期待を集めており、それらを高効率化する技術が求められている。活性の高い微生物をスクリーニングする技術を確立し、バイオ燃料や微生物電池の高効率化につなげる。	微生物のスクリーニング等に利用することを目的として、交流インピーダンス法による簡便な代謝活性・酵素活性測定法の開発を試みて、多検体の測定に適したシステムを構築することができた。また、このシステムを適用して、電荷移動抵抗を測定することにより、酵母の増殖および酵素の活性を測定することができた。

(4) 農林水産総合技術センター 農業研究所

課 題	目 的	結 果
カドミウム汚染田復元後の客土水田における施肥改善効果等に関する調査	復元後の客土水田地帯の稲作の安定化を図るため、水稻栽培指針の実証展示を行う。	神通川流域（2カ所）、黒部地域（1カ所）の客土水田地帯に設置された実証展示ほ場で、栽培指針に基づき水稻を栽培し、肥料や土壌改良資材の施用効果について調査、確認を行った。
カドミウム汚染田復元後の客土水田の安全確認調査	復元後の客土水田について汚染が除去されたことを確認する。	神通川流域及び黒部地域の客土水田を対象に、代表地点から玄米や土壌を採取しカドミウム濃度を調査して、汚染が除去され安全な農地に復元されたことを確認した。

(5) 農林水産総合技術センター 畜産研究所

課 題	目 的	結 果
畜産臭気および排水処理に関する環境改善技術の開発	畜産臭気対策や排水処理技術改善による臭気低減や水質改善に取り組むことにより、地域環境と調和した持続的な畜産経営を支援する。	畜舎汚水を適切な強度で曝気すると、汚水中の水溶性のリン及びマグネシウム濃度が低下することから、汚水中で結晶化していることが示唆され、回収の可能性が明らかにした。

(6) 農林水産総合技術センター 森林研究所

課 題	目 的	結 果
酸性雨等森林影響予測に関する調査	酸性雨等による森林への影響を予測するための森林環境の現状把握	定点調査地で酸性雨実態調査、森林土壌調査、森林健全度調査等のモニタリング調査を行い、森林環境の実態を明らかにした。

(7) 農林水産総合技術センター 木材研究所

課 題	目 的	結 果
スギ間伐材を原料としたWPC用スギ木粉の生産体制の確立	射出成型用スギ木粉コンパウンドの試作とWPCの物性について検討する。	スギ木粉を高温水蒸気下で解繊しながらPP樹脂と混練することにより、流動性の高いコンパウンドが得られ、これにより成型したWPCは、均質で優れた強度性能を示すことが判明した。
スギ木粉・竹粉複合体の開発	スギ木粉と竹粉のみを材料とし、任意の形状のスギ木粉・竹粉複合体の製造技術を開発する。	蒸煮竹粉・スギ木粉を材料として、立体成型技術を確立すると共に、試作した朱肉ケース基材に高岡漆器の螺鈿細工を施すことにより、木質系100%の高級朱肉ケースの開発に成功した。

(8) 農林水産総合技術センター 水産研究所

課 題	目 的	結 果
赤潮に関する調査	赤潮の発生状況の把握	23年度は1件が確認された。
富山湾の底生生物の調査	底生生物からみた富山湾底質の汚濁状況の把握	富山湾の沿岸8か所で採泥を行い、底生生物の種類やその量等の調査を実施した。汚染指標種であるチヨノハナガイが1定点で1個体見られたが、汚染指標種の優占は認められなかった。なお、全硫黄化物及びCODは全ての定点において水産用水基準を満たしていた。

(2) 自然環境の保全

表2-17 国立公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（23年度）
（単位：件）

国立公園	許可（協議・届出含）		認可（同意・協議含）	計
	大臣	知事		
中部山岳	36	47	22	105
白山	0	1	0	1
計	36	48	22	106

表2-18 国定公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（23年度）
（単位：件）

国定公園	許可（協議・届出含）	認可（承認）	計
能登半島	5	0	5

表2-19 県立自然公園内における工作物の新築等に係る許認可取扱状況（23年度）
（単位：件）

県立自然公園	許可（協議・届出含）	認可（同意・協議含）	計
朝日	4	0	4
有峰	6	0	6
五箇山	2	0	2
白木水無	3	1	4
医王山	1	0	1
僧ヶ岳	0	0	0
計	16	1	17

表2-20 富山県自然環境保全基金による土地保有状況

(24年3月31日現在) (単位：m²)

名 称	市町村名	山 林 ①	そ の 他 ②	合 計 ①+②	左のうち、県の持分	
					持分比	
朝日県立自然公園・朝日城山地内	朝日町	51,679.01	21,485.67	73,164.68	2/3	48,776.45
白木水無県立自然公園・杉ヶ平地内	富山市	378,896.00	0.00	378,896.00	3/4※	278,704.42
県民公園野鳥の園・古洞池	//	142,853.45	0.00	142,853.45	1/1	142,853.45
県民公園野鳥の園・恩坊池	射水市	30,720.00	577.00	31,297.00	1/1	31,297.00
能登半島国定公園・雨晴園地	高岡市	2,113.00	8,065.11	10,178.11	2/3	6,785.41
縄ヶ池・若杉自然環境保全地域内	南砺市	126,916.00	0.00	126,916.00	2/3	84,610.67
五箇山県立自然公園・相倉地内	//	712.00	22,552.41	23,264.41	2/3	15,509.61
五箇山県立自然公園・西赤尾地内	//	172,250.76	8,195.44	180,446.20	2/3	120,297.47
医王山県立自然公園内	//	379,249.62	2,268.00	381,517.62	2/3※	245,422.28
能登半島国定公園・九殿浜、窪地内	氷見市	2,751.00	5,214.000	7,965.00	2/3	5,310.00
	小 計	1,288,140.84	68,357.63	1,356,498.47	—	979,566.76
(注) ※：他の持ち分比率あり。						
県民公園野鳥の園	富山市	52,394.00	地上権設定	52,394.00	1/1	52,394.00
	合 計	1,340,534.84	68,357.63	1,408,892.47	—	1,031,960.76

表2-21 県民公園新港の森の概要

施 設 名	概 要
野 球 場	1 規模 両翼90m、センター120m 2 施設 バックスクリーン、スコアボード、バックネット、ダッグアウト、放送設備等
スポーツ広場	1 規模 300mトラック（6コース）相当、直線コース125m 2 施設 跳躍、投てき、サッカー、ゲートボール、ソフトボール
テニスコート	クレイコート4面
駐 車 場	4か所（乗用車約200台駐車）
そ の 他	管理事務所1棟、園路遊歩道6,400m、芝生広場10か所（27,000m ² ）、植栽約11万本（160,000m ² ）休憩所32か所、便所5か所、公衆電話など

表2-22 県民公園新港の森施設利用状況

(単位：人)

年 度		19	20	21	22	23
入 園 者 数		149,700	151,550	140,350	133,950	127,780
施設 利用 人員	野 球 場	11,574	11,798	11,633	11,791	11,756
	テニスコート	1,167	1,593	1,526	2,641	1,941
	スポーツ広場	4,577	5,423	6,780	4,607	3,595
	計	17,318	18,814	19,939	19,039	17,292

表2-23 空港スポーツ緑地の概要

地区	主な施設	面積	特 徴
A 地区	陸上競技場 お祭り広場 その他	ha 3.5	トラックはウレタンチップ系全天候型舗装。 カラーアスファルト舗装。イベントの会場としても利用可能。 園路、植栽地等。
B 地区	庭球場 入口広場 展望広場 芝生スロープ せせらぎ広場 その他	3.3	ウレタン系全天候型コートが6面ある。 空港スポーツ緑地の「玄関」となる広場。 小高い丘の上であり、飛行機の離着陸が眺められる。 なだらかな芝生のスロープ。冬はミニスキーに利用できる。 長さ208.5mに及び滝、流れ、池がある。 園路、植栽地等。
C 地区	わんぱく広場 芝生広場 ゲートボール広場 駐車場の その他	2.9	多目的に利用できる広々とした芝生の広場。 ダスト舗装コートが4面ある。 自動車62台が駐車可能。 園路、植栽地等。
D 地区	林間広場 緑陰広場 レインボープラザ 駐車場の その他	1.7	ダスト舗装の広場に高木の林 芝生の広場 7色のシャワーモニュメントを配したサンクン広場 自動車26台駐車可能 園路、植栽地等
E 地区	児童遊園場 駐車	1.8	築山、砂場等
合 計		13.2	

表2-24 空港スポーツ緑地施設利用状況

(単位：人)

年 度		19	20	21	22	23
入 園 者 数		62,205	64,622	63,657	68,087	64,797
施設 利用 人員	陸上競技場	7,091	9,901	9,615	10,428	11,024
	庭 球 場	6,463	6,481	5,376	5,189	4,788
	計	13,554	16,382	14,991	15,617	15,812

表2-25 立山山麓家族旅行村の主要施設

地区	主要施設
中央管理地区	管理棟（鉄筋コンクリート平屋建、343m ² ）、休憩所（合掌造）、駐車場（60台収容）、芝生広場（7,890m ² ）、イベント広場
ファミリー広場	芝生広場（7,269m ² ）、遊水池、石の山、遊水池、パークゴルフコース
野外広場	オートキャンプサイト（31区画）、野外ステージ、バーベキュー卓、炊事棟、多目的ハウス、トリムコース、シャワー棟
宿泊施設地区	ケビン（4人用15棟、8人用5棟）、バーベキュー卓
森の広場	芝生広場（9,200m ² ）、展望広場、ロックガーデン

表2-26 登山届の概要

(23年12月1日～24年5月15日)

区分	12月1日～2月末日	3月1日～4月15日	4月16日～5月15日	合計
登山届	21パーティー (73人)	8パーティー (21人)	158パーティー (470人)	187パーティー (564人)

表2-27 愛鳥週間行事（23年度）

月日	行事名	場所・時間	行事内容	備考
5月11日(水)	学校愛鳥の日	愛鳥モデル校	平成23年度（第37回）愛鳥モデル校の指定証の交付を行う。 黒部市立石田小学校	愛鳥活動に積極的な小中学校を昭和50年度から毎年指定しているもの
	ふれあいの日	富山市婦中町吉住 自然博物館「ねいの里」	音川保育所園児が、野鳥の巣箱内の様子を観察する。また、救護の様子を見学し、リハビリ後の鳥を放鳥し、野鳥に関する理解を深める。 参加者：園児・先生30名程度	
5月12日(木)	野鳥観察の日 ※悪天候のため中止	呉羽山一带	富山短期大学幼児教育学科の学生を対象に、野鳥を中心とした（第35回）自然教室を開き、野外教育のあり方を体験する。 共催：自然博物館ねいの里 参加者：幼児教育学科1年生	富山市安養坊の八幡社に午前9時に集合し、呉羽山からハケ山にかけて探鳥会を実施
5月13日(金)	ツバメ調査の日	富山市立保内小学校	平成22年度の愛鳥モデル校である富山市立保内小学校の児童が、校下内でツバメの生息調査を実施する。第41回	平成22年度（第40回）までは、県下すべての小学校で実施していた。
5月14日(土)	野鳥相談の日	富山市婦中町吉住 自然博物館「ねいの里」	自然博物館ねいの里で野鳥救護の体験、野鳥に関する各種相談に応じる。 共催：自然博物館ねいの里	
5月15日(日)	探鳥の日	富山市三ノ熊野鳥の園（古洞池）	愛鳥思想の普及啓発のため、広く一般の方を対象に（第45回）バードウォッチングを開催する。 共催：日本鳥類保護連盟富山県支部等	参加者は、古洞池駐車場へ午前8時に集合 小雨決行
5月16日(月)	野鳥保護表彰の日	県庁4階大会議室	第57回愛鳥ポスターの入賞者の表彰と環境省等主催の野生生物保護功労者表彰の伝達式を行う。 ・愛鳥ポスター入賞者 (富山県知事賞、富山県教育委員会教育長賞)	入選ポスターの展示は5月17日～22日までファーパーレで、また5月23日～6月20日は自然博物館ねいの里で実施

表2-28 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」による種の指定状況
(24年3月31日現在)

指定年月日区分	種名	富山県で生息が確認されている種
5年2月10日 鳥類	アホウドリ、チシマウガラス、コウノトリ、トキ、シジュウカラガン、オオタカ、イヌワシ、ダイトウノスリ、オガサワラノスリ、オジロワシ、オオワシ、カンムリワシ、クマタカ、シマハヤブサ、ハヤブサ、ライチョウ、タンチョウ、ヤンバルクイナ、アマミヤマシギ、カラフトアオアシシギ、エトピリカ、ウミガラス、キンバト、アカガシラカラスバト、ヨナクニカラスバト、シマフクロウ、オーストンオオアカゲラ、ミユビゲラ、ノグチゲラ、ヤイロチョウ、アカヒゲ、ホントウアカヒゲ、ウスアカヒゲ、オオトラツグミ、オオセッカ、ハハジマメグロ、オガサワラカワラヒワ	オオタカ(留鳥) イヌワシ(留鳥) オジロワシ(冬鳥) オオワシ(冬鳥) クマタカ(留鳥) ハヤブサ(留鳥) ライチョウ(留鳥) カラフトアオアシシギ(旅鳥) ウミガラス(冬鳥)
6年1月28日 哺乳類 魚類 昆虫類 植物	ツシマヤマネコ、イリオモテヤマネコ ミヤコタナゴ ベッコウトンボ レブンアツモリソウ、キタダケソウ	
7年2月8日 爬虫類 両生類 淡水魚類 植物	キクザトサワヘビ アベサンショウウオ イタセンパラ ハナシノブ	イタセンパラ
8年1月8日 昆虫類	ヤシャゲンゴロウ、ヤンバルテナガコガネ、ゴイシツバメシジミ	
9年9月5日 植物	ホテИАツモリ、アツモリソウ	
9年11月27日 鳥類	ワシミミズク	
11年11月25日 植物	アマミデンダ、ヤドリコケモモ、コゴメキノエラン	
14年8月7日 魚類 昆虫類 植物	スイゲンゼニタナゴ イシガキニイニイ チョウセンキバナアツモリソウ、オキナワセッコク、クニガミトンボソウ	
16年7月2日 哺乳類 魚類 植物	ダイトウオオコウモリ、アマミノクロウサギ アユモドキ ムニンツツジ、ムニンノボタン、アサヒエビネ、ホシツルラン、シマホザキラン、タイヨウフウトウカズラ、コバトベラ、ウラジロコムラサキ	
20年7月25日 昆虫類 植物	オガサワラハンミョウ、オガサワラシジミ、オガサワラトンボ、オガサワラアオイトトンボ、ハナダカトンボ ヒメタニワタリ、コヘラナレン、シマカコソウ、ウチダシクロキ	
21年12月2日 哺乳類	オガサワラオオコウモリ	
23年3月18日 昆虫類	マルコガタノゲンゴロウ、フチトリゲンゴロウ、シャープゲンゴロウモドキ、ヨナグニマルバネクワガタ、ヒョウキンモドキ	シャープゲンゴロウモドキ

表2-29 野生鳥獣の救護活動実績（23年度）

区 分	鳥 類			獣 類			合 計		
	種類数	救 護 数 羽 数	救 護 数 日 数	種類数	救 護 数 頭 数	救 護 数 日 数	種類数	救護数	救 護 数 日 数
富山県鳥獣保護センター	52	181	—	7	25	—	59	206	—
富山県鳥獣救護の会	21	41	154	4	6	16	25	47	170
合 計	73	222	154	11	31	16	84	253	170

表2-30 有害鳥獣捕獲等の状況（23年度）

種 類（鳥類）	捕 獲 数（羽）	種 類（獣類）	捕 獲 数（頭）
カ ラ ス	4,239	ノ ウ サ ギ	2
カ ワ ウ	367	ク マ	16
ゴ イ サ ギ	78	サ ル	159
ド バ ト	15	ハ ク ビ シ ン	87
ム ク ド リ	10	イ ノ シ シ	225
ヒ ヨ ド リ	0	タ ヌ キ	12
カ モ 類	106		
そ の 他	80		
計	4,895	計	501

注 クマ、サルは特定計画に基づくものも含まれます。

表2-31 狩猟者登録の実績（23年度）

（単位：人）

区 分	県 内 者	県 外 者	計	
免 許 の 種 類	網 猟	60	0	60
	わ な 猟	156	0	156
	第一種銃猟	606	96	702
	第二種銃猟	22	0	22
計	844	96	940	

注 網 猟：網 等
 わ な 猟：わな
 第一種銃猟：ライフル銃、散弾銃及び空気銃
 第二種銃猟：空気銃

(3) 生活環境の保全

表2-32 一般環境観測局の概要

(24年3月現在)

区分	市 町	観 測 局	所 在 地	設置年度	調査機関	測 定 項 目 等
富 山 地 域	富山市	富山水橋	水橋島等	50	市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二酸化硫黄（紫外線蛍光法） ・ 浮遊粒子状物質（β線吸収法） ・ 窒素酸化物（オゾンを用いる化学発光法） ・ 光化学オキシダント（紫外線吸収法） ・ 風向風速（光パルス式） ・ テレメータ化
		富山岩瀬	蓮 町	42	市	
		富山芝園	安野屋町	3	市	
		富山蜷川	赤 田	48	市	
		婦中速星	笹 倉	48	市	
	滑川市	滑川上島	上 島	3	県、市	
		滑川大崎野	大 崎 野	50	県、市	
高岡 ・ 射水 地 域	高岡市	高岡伏木	伏木東一宮	42	県	
		高岡本丸	中 川	43	県、市	
		高岡戸出	戸出光明寺	47	県、市	
		福 岡	福岡町土屋	4	県	
	氷見市	氷 見	窪	4	県	
	射水市	新湊三日曾根	三日曾根	42	県	
		新湊海老江	東明中町	48	県、市	
小杉太閣山		中太閣山	47	県		
新川 地 域	魚津市	魚 津	北 鬼 江	3	県	
	黒部市	黒部植木	植 木	4	県、市	
	入善町	入 善	入 膳	3	県	
砺波 ・ 小矢部 地 域	砺波市	砺 波	太 田	4	県	
	小矢部市	小 矢 部	泉 町	4	県	
	南砺市	福 野	柴 田 屋	4	県	
計	21					

表2-33 二酸化硫黄濃度の年度別推移（年平均値）

（単位：ppm）

観測局			年 度				
			19	20	21	22	23
富山地域	富山市	富山岩瀬	0.004	0.004	0.003	0.001	0.001
		富山芝園	0.004	0.003	0.001	0.001	0.001
		富山蜷川	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001
		婦中速星	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	滑川市	滑川上島	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
		滑川大崎野	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
		高岡能町	0.001	0.000	0.000	0.000	
		高岡本丸	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
		高岡戸出	0.001	0.000			
	氷見市	氷見	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000
	射水市	新湊三日曾根	0.003	0.004	0.000	0.001	0.001
		新湊海老江	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001
小杉太閤山		0.001	0.000	0.000	0.001	0.001	
新川地域	魚津市	魚津	0.003	0.002	0.002	0.002	0.003
	黒部市	黒部植木	0.001	0.001	0.000	0.000	0.000
	入善町	入善	0.002	0.001	0.001	0.002	0.002
小矢部・砺波地域	小矢部市	小矢部	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003
	南砺市	福野	0.003	0.003	0.002	0.002	0.003
年平均値			0.002	0.001	0.001	0.001	0.001

注1 測定は、紫外線蛍光法によります。

注2 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画」により、高岡戸出については20年度末、高岡能町については22年度末に測定を廃止しました。

表2-34 二酸化硫黄に係る環境基準の達成状況

			1日平均値の2%除外値(ppm)					短期的評価による適(○)、否(×)					長期的評価による適(○)、否(×)					
			基準					0.04ppm以下であること										
観測局			年度	19	20	21	22	23	19	20	21	22	23	19	20	21	22	23
富山地域	富山市	富山岩瀬	0.008	0.007	0.007	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		富山芝園	0.007	0.006	0.002	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		富山蜷川	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		婦中速星	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	滑川市	滑川上島	0.002	0.002	0.001	0.002	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		滑川大崎野	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高岡・射水地域	高岡市	高岡伏木	0.003	0.002	0.003	0.003	0.003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高岡能町	0.003	0.002	0.002	0.002	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	△
		高岡本丸	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		高岡戸出	0.002	0.002	△	△	△	○	○	△	△	△	○	△	△	△	△	△
	氷見市	氷見	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		新湊三日曾根	0.006	0.007	0.002	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	射水市	新湊海老江	0.005	0.005	0.004	0.002	0.002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小杉太閤山	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
新川地域	魚津市	魚津	0.005	0.003	0.003	0.004	0.004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	黒部市	黒部植木	0.005	0.002	0.002	0.002	0.001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	入善町	入善	0.005	0.002	0.003	0.003	0.003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
粟ヶ峰地域	小矢部市	小矢部	0.003	0.003	0.003	0.004	0.004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	南砺市	福野	0.005	0.004	0.004	0.003	0.005	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

- 注1 測定は、溶液導電率法又は紫外線蛍光法によります。
- 2 短期的評価による適(○)とは、1日平均値がすべての有効測定日(1日20時間以上の測定が行われた日をいう。)で0.04ppm以下であり、かつ、1時間値がすべての測定時間において0.1ppm以下であることをいいます。
- 3 長期的評価による適(○)とは、年間における1日平均値のうち測定値の高い方から2%の範囲にあるものを除外した後の最大値が0.04ppm以下であり、かつ、年間を通じて1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続しないことをいいます。
- 4 「富山県大気汚染常時観測局適正配置計画」により、高岡戸出については20年度末、高岡能町については22年度末に測定を廃止しました。